

# 令和元年度 事業報告書

## I 全般

公益法人としての誇りと自覚をもって、公益目的事業を積極的に推進し、国防思想の普及啓発に努めた。

令和元年度の事業は、年度の事業計画及び収支予算に基づき実施し、概ね計画通り順調に経過した。

## II 事業

### 1 国防思想の普及啓発事業

国防思想の普及啓発を図るため、講演会、機関誌の頒布及びホームページの運営等の事業を積極的に実施した。

#### (1) 調査研究

内外の国防に関する諸情勢の調査研究、国防のあり方の探求・発表等国防思想の普及に努めた。

#### (2) 国防問題講演会の開催

国防問題講演会を毎月1回（8・12・2・3月を除き）開催し、国防問題に対する認識と理解を深め、国防思想の普及啓発を図った。この際、講演会開催の広報を雑誌「正論」、機関誌及びホームページを通じて実施して聴講者の増勢を図った。

年月	氏名	経歴	演題	聴講者
平成31年 4月10日	渡辺悦和	元東方方面総監	米中派遣争いと日本	36名
令和元年 5月15日	濱口和久	拓殖大学大学院 特任教授	民間防衛と緊急事態への対処	43名
令和元年 6月5日	小川榮太郎	文藝評論家	平成とは何だったのか、令和 はどうあるべきか	34名
令和元年 7月10日	西岡 力	麗澤大学客員教 授	文在寅政権下の韓国で何が起 きているか	37名
令和元年 10月9日	松田康博	東京大学東洋文 化研究所教授	中台の軍事バランス～現状と課 題～	39名
令和元年 10月23日	日ノ澤寿行	防衛省 白書作成 事務室長	令和元年版防衛白書につい て	45名
令和元年 11月6日	佐々木類	産経新聞社論説 副委員長	静かなる侵略～目を覚ませ日 本～	33名

令和2年 1月9日	中谷 元	日本国防協会会 長	年頭所感	42名
合 計 (前年度)				309名 (490名)

### (3) 機関誌「日本の国防」の頒布

機関誌「日本の国防」第130号、第131号、第132号を年3回発刊するとともに、国会議員、企業及び自衛隊の機関に加えて、全国の公立図書館への頒布を行った。

機関誌 「日本の国防」	頒布先			
	会員等	防衛省	議員・企業 等	図書館
令和元年7月 盛夏号 第130号	282部	114部	50部	48部
令和元年10月 錦秋号 第131号	280部	114部	52部	48部
令和2年1月 新年号 第132号	280部	114部	53部	48部

### (4) ホームページの運営

ホームページを活用して講演会の要旨等国防に関する各種情報を提供し、国防思想の普及啓発に努めた。

## 2 自衛隊施設等研修・見学事業

自衛隊施設等研修・見学を通じて、会員及び一般参加者の国防問題に関する資質を涵養し、国防思想の普及を図った。

研修・見学事業	参加者(前年度)
靖国神社参拝 (令和元年8月)	39名(37名)
富士総合火力演習 (令和元年8月)	199名(197名)
自衛隊観閲式(海上観艦式) 中止	151名予定(陸上観閲式184名)
自衛隊音楽まつり (令和元年11～12月)	260名(222名)

## 3 幹旋品の販売事業

カレンダー及びバッジ(日の丸)の販売を通して、愛国心の高揚を図った。

幹旋品	販売個数(前年度)
カレンダー「躍動」	74部(71部)

バッジ「日の丸」	39個(67個)
----------	----------

### Ⅲ その他

#### 1 会員の増勢

月刊誌「正論」広告の継続、会員募集掲載の機関誌「日本の国防」の頒布拡大、自衛隊施設等研修・見学事業の促進等に加えて、国防講座等新規国防思想普及事業に連携する会員の勧誘活動を推進した。

会 員	新規入会数	合計数
年度会員	22名	215名
永年会員	2名	40名
名誉会員	0名	19名
法人・法人特別会員	3社	12社
購読会員	0名	0名

#### 2 理事会及び評議員会の開催

会議の種類	実施回数	実施期日
通常理事会	2	令和元年 5月21日 (火) 令和2年 3月25日 (水)
定時評議員会	1	令和元年 6月 5日 (水)

以上